

「すべては子どもたちの笑顔のために」(証券コード 2749)

日本将棋連盟の協力による 保育園・学童クラブにて「棋士による将棋教室」を実施！

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスグループである株式会社日本保育サービス(以下、「日本保育サービス」という)は、渋谷区内の放課後クラブに対して、子どもたちが豊かな放課後を過ごせるよう、児童・保護者のニーズに応えるとともに、様々な学習・スポーツ及び体験活動の機会を創出する「クラブ事業コーディネート」業務を受託しております。

今般、新たな学習プログラムの一環として、日本将棋連盟の協力のもと「棋士による将棋教室」を渋谷地区放課後クラブ 12 施設ならびに当社グループが運営する保育園及び学童クラブ 35 施設が参加し 18 回開催いたしました。

■日本将棋連盟の協力による「棋士による将棋教室」開催について

将棋の良い所は小さいお子さまから年配の方まで幅広い世代でコミュニケーションがとれ、時代を担う次世代の子どもたちに礼儀作法、論理的思考、創造性、持続力など、これからの社会においても、必要とされるスキルを学べる教育的な側面があります。

「将棋」は、社会における教育的な視点と日本の伝統文化を知るとともに、新たな遊びを通じた学びを多くの子どもたちに伝えるものです。

※学校教育への将棋導入推進事業はこちら

(<https://www.shogi.or.jp/about/activity/education/?mi=top>)

■将棋教室の内容「棋士と対戦」

日本将棋連盟の棋士による、駒の並べ方・動かしかたなどの基本的なことを学んだり、実際に棋士と対戦したりと貴重な体験プログラムとなっています。

将棋を全く知らなかった子どもたちは将棋の指し方を学び、面白さに気づくことができました。また、普段から将棋を指す子どもたちは棋士と対戦することで、場面ごとに最善の一手を一緒に考える機会となり、将棋をより深く知ることができました。

棋士の方が棋士になるまでの道のりや普段どのように過ごしているかなどを聞くことで棋士という仕事についても知るきっかけとなりました。

〈「棋士による将棋教室」の様子〉



将棋は自分と向き合い考えることや、考えを積み重ねること、先を読む力を身につけることができます。また、将棋は礼に始まり礼に終わるゲームで、自分の負けを「負けました」と言って自分で認めることで精神的に成長することができます。子どもたちは、将棋という遊びを通して日本の伝統的な文化に触れ、礼法や将棋の精神を学ぶ有意義な時間となりました。



基礎から丁寧に教えていただきました



真剣に向き合う様子が見られました

当社グループは、経営理念として掲げております「子育て支援事業を通じて笑顔溢れる社会づくりに貢献します」の実績に向け、様々な企業や自治体と連携し、新たな学習・体験プログラムを推進してまいります。

■公益社団法人将棋連盟について■

「将棋の普及発展と技術向上を図り、我が国の文化の向上、伝承に資するとともに、将棋を通じて諸外国との交流親善を図り、もって伝統文化の向上発展に寄与すること」を目的として活動しております。2024年には、創立100周年を迎えています。

日本将棋連盟会長:羽生善治

詳細はこちら(<https://www.shogi.or.jp/>)

■株式会社 JPホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援 最大手企業（東証プライム市場・証券コード 2749）です。運営施設数はグループ全体で320施設となります。当社グループでは、子育て支援に関する様々な事業を展開しております。

詳細はこちら(<https://www.jp-holdings.co.jp/>)

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本部経営企画部 広報 IR 課

TEL: 03-6433-9515 FAX: 03-6455-8032

MAIL: jphd.pr@jp-holdings.co.jp /<https://www.jp-holdings.co.jp/>